## "感謝の気持ちを込めて"

第25回 住まいのリフォームコンクール



## 《設計・施工のポイント(増改築等の工夫)》

一人生活の母親と同居の為、介護対応を考えたリフォームを希望されました。生まれ育った建物で使える材料・建具はそのままに再利用し、基礎部分からの確認による補強と湿気対策。 明るさと風を取り込む間取りに変更。古材利用による補強と新材を組み合わせ、断熱を入れた対策。二間続きの和室・天上は、建てた当初の梁を表し、父親のこだわった木製建具を残し、 仏間和室を再現できました。母親の動き・介護する家族の動きを考え、部屋での洗面・部屋からのトイレ・浴室の動線。常に家族との集合の場所(リビング)からの声が届き、移動も楽な配置へと 変更。利便性を失わず、自然の光と風を取り入れる窓の配置。各箇所にできる限りの収納を考え、表に出さない工夫。民家の持つ "癒しの空間"を生かし、親と同居に不便のない設備の改装としま した。玄関は、車イスの利用となった時を考え、後日スロープも可能に、介護が必要になるまでは、なるべく自分でという考えからの提案です。

	応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	11 <b>7</b> />	
居	株式会社 配児島タニザキ	株式会社 鹿児島タニザキ	株式会社 鹿児島タニザキ	60年	木造	木造平屋	H26年7月	150 日間	1,456 万円	リフォーム 内容	改装工事